

福岡県学生ハンドボール新人戦大会 感染対策ガイドライン

大会参加に関して、チーム責任者の管理下において、一般的感染症対策をとることに加えて、以下の感染予防対策を遵守することとする。

1. 大会前の健康チェックについて

- ・各チームの責任者は、自チーム選手スタッフ全員の健康チェックを責任を持って行う。
- ・体調不良者は大会に参加することはできない。
- ・大会前に体調不良があっても、次の A・Bの両方の条件を満たしている 場合、大会への参加を認めることがある。事前に体調不良者があった場合には大会本部へ確認をとること。

A 新型コロナ感染疑い症状の発症後、8日以上経過している。(発症日を0日として)

B 薬剤の服用がない状態で、解熱・症状消失して 3日以上経過している。

(解熱・症状消失日を0日として)

2. 大会会場への移動について

- ・一般的な感染予防策を講じた上で、公共交通機関やチーム専用車両を利用する。
- ・自家用車による移動では、1台に複数人での利用をできるだけ行わない。
(2人以上で乗る場合には、マスクの徹底、座席間隔、開窓に配慮する)

3. 大会当日の注意事項

- ・入館時に各施設入り口に備え付けているサーモグラフィーにより検温を行う。
また、消毒液にて手指消毒を行う。
各チームの責任者は責任を持って参加者の体温を確認すること。
発熱者は入館することができない。
(37.5℃以上の発熱の場合、別の体温計にて検温を行う)

4. 体育館内では、試合をしない他チームとの接触をできるだけ避けるために、行動を制限する。さらに、一般的な予防対策を徹底する。

- ア) トイレは常時利用可能
- イ) シャワー利用禁止
- ウ) 更衣室では密を避ける
- エ) フロア・観覧席以外のスペースの利用禁止
- オ) 会場の観覧席で、荷物管理、待機、食事は可能。
- カ) ゴミは各チーム持ち帰ることとする

キ) 運営スタッフによる定期的な施設内の見回りを実施する

5. 参加者（運営関係者・チーム関係者・審判）の感染対策（大会後）

・大会終了後2週間は、自主的に体調チェックを行い、この期間に発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所、相談センター、かかりつけ医などに連絡後、必ず大会本部に報告すること。

6. 大会直前および大会期間中にコロナ感染が疑われる事案その他関連事案が生じた場合、福岡県学生ハンドボール連盟理事会で協議して対処する。

競技上の感染予防対策に伴う注意点

① 試合前のトス、ユニフォームチェック

前試合の終了後、消毒やフロア清掃が終了した後で、コートオフィシャル席で行う

② ウォーミングアップ（ボールを使用したもの）

前試合の終了後、消毒やフロア清掃が終了した後で、ボールを使用したウォーミングアップをハーフコートで行ってください。

③ コート内でのみマスクを外すことができる。ベンチでは役員、選手ともできる限りマスクを着用する。但し、指示を出すヘッドコーチ1名はマスクを外してよい。

④ 試合前後の挨拶は、選手同士、声を出さずに一礼のみとする。
試合後の相手ベンチ、審判、オフィシャル席への挨拶は割愛する。

⑤ 試合前後のハイタッチや握手は行わない。

⑥ タオル、ドリンクボトル、アイシングバッグなどの共有は禁止する。

⑦ ハーフタイム

選手は、速やかに自分たちが使用したベンチを消毒する（セルフ消毒）
次試合のウォーミングアップは実施されないので、後半の自陣ベンチにて待機可能

⑧ 試合終了後

選手は、速やかに自分たちが使用したベンチを消毒する（セルフ消毒）